

患者さん向け公開資料

歯周病治療

治療の流れから再評価・メンテナンスまで
大切なところを、わかりやすくまとめました

必要な治療は、お口の状態に合わせて段階的に進めます



堀齒科医院



CONTENTS

目次

- | | | |
|---|--------------------------|---------|
| 1 | 治療はどのような流れで進みますか？ | p.3-4 |
| 2 | 初診ではどのような検査を行いますか？ | p.5-6 |
| 3 | 治療前の口腔内洗浄と補助的処置 | p.7-8 |
| 4 | セルフケア指導はなぜ大切ですか？ | p.9-10 |
| 5 | SRP（スケーリング・ルートプレーニング）とは？ | p.11-12 |
| 6 | Nd:YAGレーザーによる歯周病治療 | p.13-14 |
| 7 | 再評価と、改善が不十分な場合の追加治療 | p.15-17 |
| 8 | 定期メンテナンスと継続管理 | p.18-20 |

この資料は歯周病治療の全体像を患者さん向けにまとめたものです。実際の検査・処置・治療順序・通院間隔は、症状や検査結果、全身状態などに応じて調整します。



歯周病治療は、段階的に進みます

歯石を一度取って終わりではなく、治り具合を確認しながら進めます

歯周病治療では、まず現在の状態を詳しく確認し、原因となるプラーク（歯垢）や歯石などを減らします。その後、歯ぐきや歯周ポケットがどの程度改善したかを再評価し、次の方針を決めます。

検査・診断

歯周基本治療

再評価

必要な追加治療

継続管理

歯周基本治療の中心

- ・毎日の歯磨き・歯間清掃を見直し、プラークを減らします。
- ・歯科医院では、歯石・バイオフィルムなどを専門的に除去します。
- ・歯周ポケット内の清掃やSRPは、必要な部位に行います。

再評価が大切です

- ・歯周ポケットの深さ、出血、腫れ、歯の揺れ、磨き残しなどを治療前と比較します。
- ・改善が不十分な部位だけに、追加のSRPやその他の治療を検討します。
- ・状態が安定した後も、再発予防のため定期的な管理を続けます。

治療内容や回数は、歯周病の進行度・骨の状態・全身状態などによって一人ひとり異なります。

※上の流れ図は全体像を簡略化しています。補助的処置は必要に応じて歯周基本治療の中で組み合わせます。

歯周病治療はどのような流れで進みますか？

お口の状態に合わせて、段階的に治療を進めていきます

1 検査・診断

- ・歯周ポケットの測定
- ・出血の有無の確認
- ・歯の動揺のチェック
- ・レントゲン検査・診断



ポケット測定



出血の確認



動揺のチェック



レントゲン・診断

2 歯周基本治療

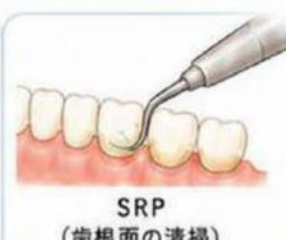
- ・セルフケアの改善指導
- ・プラーク・バイオフィルム・歯石の除去 (スケーリング / SRP)



セルフケア指導



スケーリング
(歯石・歯垢の除去)



SRP
(歯根面の清掃)

3 必要に応じた補助的処置

- ・POIC WATER によるお口の洗浄
- ・歯科用 Nd:YAG レーザーによる補助的処置 ※必要な場合のみ

POIC WATER
口腔洗浄



お口全体を
やさしく
洗浄します

歯科用 Nd:YAG レーザー



お口の状態に
応じて必要性を
判断し、補助的に
使用します

or

※いずれも必要と判断した場合に行います。

4 再評価

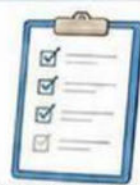
- ・歯周ポケットの再測定
- ・出血の有無の確認
- ・治療後の変化を評価



ポケットの再測定



出血の確認



治療効果の評価

5 追加治療

- ・改善が不十分な部位に対して、必要な治療を行います



改善が不十分な部位を
確認

必要に応じた治療例

- ・SRP の追加
- ・歯周外科治療
- ・咬合調整 など



状態に合わせた
適切な治療を行います

6 メインテナンス・継続管理

- ・定期的な検診・クリーニング
- ・セルフケアの継続
- ・再発予防と健康の維持



定期検診・クリーニング



毎日のセルフケア



継続管理で健康を維持

治療は段階的に進みます

一つひとつのステップを丁寧に、
お口の健康を取り戻し、
長く保つことを目指します。

症状が軽くなっても
再評価と継続管理が大切です

歯周病は再発しやすい病気です。
定期的なチェックとケアで、
健康なお口を守りましょう。



堀 歯 科 医 院

初診では、お口全体を多角的に確認します

見た目や自覚症状だけでは、歯周病の進行度は正確に判断できません

初診では、歯ぐきだけでなく、歯を支える骨、歯の揺れ、噛み合わせ、全身状態や生活習慣などを組み合わせて確認し、治療計画を考えます。

主な確認事項

- ・出血・腫れ・痛み・口臭・歯の揺れなどの症状
- ・糖尿病などの全身疾患、服薬、喫煙習慣、治療歴
- ・歯や歯ぐき、歯石、むし歯、被せ物・詰め物の状態
- ・必要に応じた口腔内写真の記録

歯周組織検査

- ・プローブで歯周ポケットの深さを測定
- ・プロービング時の出血、腫れ・退縮、膿の有無
- ・歯の動揺、根分岐部病変など
- ・プラークの付着とセルフケアの状態

必要に応じて画像・噛み合わせも確認

- ・エックス線写真で、歯を支える歯槽骨や歯根周囲の状態を確認します。
- ・歯ぎしり・食いしばり・噛み合わせの偏りなど、特定の歯に強い力がかかっているのかも確認します。
- ・検査結果を総合し、治療する部位・優先順位・保存の見込みなどをご説明します。

強い痛みや腫れがある場合は、精密な検査より先に応急処置を優先することがあります。

初診ではどのような検査を行いますか？

歯周病は、見た目や自覚症状だけでは進行の程度を正確に判断できません。初診では、お口の状態をさまざまな角度から確認し、治療計画を立てます。



大切なポイント



現在の症状と全身状態を確認します。



歯周ポケットの深さや出血などを測定します。



必要に応じてエックス線写真で骨の状態を確認します。



検査結果を組み合わせ、治療計画を考えます。

初診で行う主な検査の流れ

1 現在の症状や全身状態についてお聞きします



出血・腫れ・痛み・口臭・歯の揺れなどの症状や経過を確認します。あわせて、全身疾患、お薬、喫煙、過去の治療歴などもお聞きします。

2 お口の中を診察します



歯や歯ぐきの状態、歯石の付着、むし歯、被せ物・詰め物の状態などを確認します。必要に応じて口腔内写真を撮影し、治療前の状態を記録します。

3 歯周ポケットなどの歯周組織検査



プローブを使って歯周ポケットの深さを測定します。あわせて出血、腫れや退縮、膿の有無、歯の揺れ、根分岐部病変などを確認します。

4 歯垢の付着状態とセルフケアを確認します



プラークが残りやすい部分を確認します。磨き残しの場所を一緒に確認し、歯ブラシや歯間清掃用具の使い方を考えます。

5 エックス線写真で骨の状態を確認します



必要に応じてエックス線写真を撮影し、歯を支えている歯槽骨の状態、歯根周囲の異常、歯ぐきの深い部分にある歯石の手がかりなどを確認します。

6 噛み合わせや歯にかかる力を確認します



歯ぎしりや食いしばり、噛み合わせの偏りなどを確認します。特定の歯に過度な力が加わっていないかを判断します。

7 検査結果をご説明します



検査結果を総合して、歯周病の有無や進行状態、重症度、保存の見込み、治療の優先順位、今後必要な治療についてご説明します。強い痛みや腫れがある場合は応急処置を優先します。

まとめ



問診・歯周組織検査・歯の揺れ・プラークの付着・エックス線写真・噛み合わせなどを組み合わせ、患者さん一人ひとりに合った治療計画を考える大切な段階です。



※これらの事項を、すべてについて、また、この順番で行うものではありません。

患者さんのお口の状態や症状、必要性に応じて、検査の内容や順番を調整しながら進めていきます。



お口の状態を正確に把握することで、より適切で安心できる治療につながります。

堀齒科医院



補助的な処置は、必要な場合にだけ行います

歯周病治療の基本は、セルフケアと機械的な歯石・バイオフィルム除去です

POIC WATERによる口腔内洗浄

- ・当院では、症例や処置内容に応じて、治療前の口腔内洗浄の一環として使用します。
- ・目的は、処置前のお口の中を清潔に整えることです。
- ・うがいや洗浄だけで、深い部分の歯石や強固なバイオフィルムを十分に除去することはできません。
- ・歯磨き・スケーリング・SRPなどの基本治療を置き換えるものではありません。

補助的処置の位置づけ

- ・歯周病治療の基本は、毎日のセルフケアと、スケーリング・SRPなどによる機械的な清掃です。
- ・お口の状態や処置内容に応じて、口腔内洗浄やレーザーなどを補助的に組み合わせることがあります。
- ・補助的処置だけで歯周病を治すものではなく、使用するかどうか・使用する順序は必要性を判断して決めます。
- ・Nd:YAGレーザーについては、「6 Nd:YAGレーザーによる歯周病治療」で詳しくご説明します。

なぜ治療前に POIC WATER を使用することがあるのですか？

治療前にお口の中を洗浄し、処置を行う環境を整えます

POIC WATER は、治療前の口腔内洗浄（プレトリートメント）として使用します。

- お口の中をやさしく洗浄し、処置前の口腔環境を整えます
- 必要に応じて、治療前の口腔内洗浄として使用します



治療前の
口腔内洗浄の一環です



基本治療の代わりでは
ありません



POIC WATER は、ブラッシングやスクレーリング、SRP の代わりではありません。



深い歯石や強いバイオフィームは、機械的な清掃が必要です。



基本的な流れ

1 セルフケアの確認



ブラッシング方法やケアの状況を確認します。

2 必要に応じた POIC WATER による洗浄



お口全体をやさしく洗浄し、治療の環境を整えます。

3 必要に応じた補助的処置



必要に応じて補助的な処置を行います。
内容はお口の状態により異なります。

4 スクレーリング・SRP



歯石やバイオフィームを機械的に除去します。

5 再評価



お口の状態を再確認し、治療効果を評価します。

ポイント

- 治療前の口腔環境を整えるための洗浄です。
- POIC WATERは、必要に応じて使用します。
- ブラッシング・スクレーリング・SRPの代わりではありません。



お口の健康は、治療だけでなく日々のケアの積み重ねで守られます。
一緒に、清潔で健康なお口を目指しましょう。





毎日のセルフケアが、治療の土台です

プラークは毎日つくられるため、歯科医院での処置だけでは十分ではありません

歯周病治療では、歯石を取ることと同じくらい、毎日のセルフケアでプラークを減らし続けることが重要です。当院では早い段階から、お口の状態に合ったケア方法を一緒に確認します。

なぜ最初からセルフケアを整えるの？

- ・プラークを減らすことで、歯ぐきの赤み・腫れ・出血が軽くなることがあります。
- ・炎症が落ち着くと、歯石除去やSRPなどの専門的な処置を進めやすくなります。
- ・治療した部位に再びプラークがたまり、炎症が起こるのを防ぐためにも大切です。

一人ひとりに合わせて調整します

- ・歯ブラシを当てる角度・力加減・磨く順番
- ・歯間ブラシやデンタルフロスの選び方と使い方
- ・歯並び、被せ物、歯ぐきの形などによる磨き残しやすい場所
- ・無理なく続けられる方法を確認し、治療後も習慣として続けます。

セルフケア指導は単なる「歯磨きの説明」ではなく、治療の効果を支え、良い状態を長く維持するための大切な治療の一部です。

セルフケア指導はなぜ最初に行うのですか？

毎日のセルフケアが、治療と将来のお口の健康を支えます

1 プラークは毎日たまるため、セルフケアが治療の土台です

- ・食事のたびにプラーク（歯垢）ができます
- ・放置すると歯ぐきの炎症や歯周病が進行します
- ・毎日のセルフケアが、治療の効果を支えます

毎日の生活の中でプラークはたまっていきます



毎日の
セルフケアが
治療の土台
です

2 ブラッシングと歯間清掃の改善で、歯ぐきの炎症は落ち着きます

- ・正しいセルフケアでプラークを減らすと、歯ぐきの炎症が改善します
- ・出血や腫れが減り、お口の不快感が軽減します

炎症のある状態



赤く腫れて、出血がある

ケアの改善後



炎症が落ち着き、
引き締まった状態に



3 お口がきれいになると、その後の治療がスムーズになります

- ・炎症が落ち着くと、治療部位を確認しやすくなります
- ・その後の検査や処置を進めやすくなります

セルフケアで
お口を整える



精密な検査・治療が
しやすくなる



良好な状態を
目指します

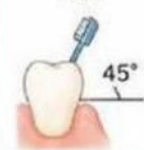


4 一人ひとりに合わせたセルフケア指導を行います

- ・お口の状態や生活習慣に合わせて、わかりやすくアドバイスします
- ・小さなコツの積み重ねが大きな効果を生みます

個々に合わせたアドバイスの例

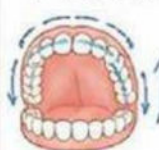
ブラッシングの
角度



力の入れ方
(適切な圧)



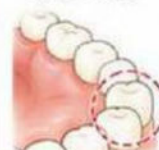
磨く順番
(バス法など)



デンタルフロス・
歯間ブラシの使い方



磨き残しやすい
部位の確認



5 早期のセルフケア習慣が、治療後の良い状態を保ちます

- ・治療後もプラークは再びたまります
- ・早い段階から良い習慣を身につけることで、再発を防ぎ、長く健康を保てます

セルフケア習慣づくり
(日々のケア)



治療
(必要な処置)



メンテナンス
(定期管理・予防)



早い段階から
習慣化することが
大切です



セルフケアは一生の財産です

毎日の小さな積み重ねが、
将来の健康と笑顔につながります。
今日から一緒にがんばりましょう！

質問や不安があれば、
いつでもご相談ください

できていることを一緒に確認しながら、
無理なく続けられる方法を
サポートします。

堀齒科医院

SRPは、歯ぐきの中を専門的に清掃する治療です

SRP=スケーリング・ルートプレーニング

歯周病が進行すると、歯周ポケットの中の歯根面に歯石や細菌性バイオフィルムが付着します。これらは通常の歯磨きでは取り除けないため、専用の器具を使って機械的に除去します。

SRPで行うこと

- ・歯周ポケット内の縁下歯石を、スケーラーなどの器具で丁寧に除去します。
- ・歯石だけでなく、歯根面に付着したバイオフィルムも機械的に清掃します。
- ・健康な歯根面を必要以上に削らず、必要な範囲の歯石・汚染物を取り除くことを重視します。

治療時

- ・深い部位では局所麻酔を使用することがあります。
- ・広い範囲は数回に分けて行うことがあります。
- ・処置後、一時的にしみる・軽い痛み・違和感が出る場合があります。

治療後

- ・歯磨き・歯間清掃を継続します。
- ・一定期間後に再評価を行います。
- ・歯周ポケット・出血・腫れなどの変化を確認し、次の方針を決めます。

POIC WATERや歯科用Nd:YAGレーザーを使用する場合もありますが、あくまで補助的な位置づけで、機械的な清掃が基本です。



SRP (スケーリング・ルートプレーニング) はどのような治療ですか？

歯周ポケットの中にある歯石や歯垢を取り除き、歯ぐきの健康を取り戻します

1 SRPとは？

歯周ポケットの中にある
歯石や歯垢(バイオフィルム)を、
専用の器具で取り除く治療です。



歯ぐきの中を
丁寧に
清掃します



2 歯みがきだけでは 届きません

歯ブラシでは、歯ぐきの中に
ある歯石や歯垢を取り除く
ことはできません。

× 歯みがきでは届かない



歯ぐきの中の汚れは
取り残されます

○ SRPでしっかり除去



ポケット内の
歯石・歯垢を
しっかり除去

ポイント

SRPの対象は、
歯周ポケットの中の
「歯の根の表面」です。



3 麻酔を使用することが あります／数回に分けて 行います

- 痛みや不快感が強い部位には、
局所麻酔を使用することがあります。
- お口の状態により、数回に分けて
治療を行います。

局所麻酔(必要に応じて)



痛みをやわらげて、
安心して治療を受けて
いただけます。

数回に分けて治療



お口の状態に合わせて、
数回に分けて丁寧にを行います。



無理なく
進められるので
安心です

4 必要に応じて補助的に 機器を使用します

- 補助的機器は、SRPの前後を含め、
お口の状態に応じた時期に使用します。
- 基本はSRPによる機械的な清掃です。

POIC WATER
(口腔洗浄)



お口全体をやさしく
洗浄・除菌します

歯科用Nd:YAG
レーザー



必要な部位に
補助的に使用する
場合があります

POINT

補助的な機器は、
必要に応じて使用します。
基本はSRPによる
機械的な清掃が中心です。

5 治療後の再評価

- 治療後に歯ぐきの状態を確認し、
改善の度合いを評価します。
- 必要に応じて、追加治療や
セルフケアの見直しを行います。

治療後に再評価



歯ぐきの状態やポケットの
深さを確認します

改善を確認



改善が見られれば、
良い状態を維持します

必要に応じて追加対応



必要な場合は、追加治療や
セルフケア指導を行います



6 その後のメンテナンス が大切です

- 良い状態を長く保つために、
定期的なメンテナンスを
続けましょう。



定期検診・クリーニング

+



セルフケアの継続

+

生活習慣の見直し



健康な歯ぐきを維持



SRPのまとめ

- ✓ 歯ぐきの中の歯石・歯垢を除去する治療です
- ✓ 歯みがきでは届かない部分が対象です
- ✓ 必要に応じて麻酔を使用し、数回に分けて行います
- ✓ 機器は補助的に併用し、再評価を行います

治療後は再評価が大切です

治療の効果を確認し、
より良いお口の健康と一緒に目指しましょう。
気になることがあれば、いつでもご相談ください。



堀 歯 科 医 院

Nd:YAGレーザーによる歯周病治療

基本治療を補助する選択肢として、必要な部位に使用します

当院では、歯周病の状態や処置部位に応じて、歯科用Nd:YAGレーザーを補助的に使用することがあります。レーザー単独で歯周病を治すものではなく、セルフケア、スケーリング、SRPなどの基本治療を置き換えるものではありません。

どのような目的で使用しますか？

- ・炎症や出血などがみられる部位で、お口の状態に応じて補助的に使用します。
- ・歯周ポケット内の処置の一部として、基本治療と組み合わせて使用することがあります。
- ・すべての方・すべての部位に一律に使用するものではありません。

治療の考え方

- ・まず、セルフケアと機械的な清掃を基本として進めます。
- ・必要性を判断した部位にレーザーを補助的に使用します。
- ・処置後は再評価を行い、その後の方針を決めます。

知っておいていただきたいこと

- ・レーザーの追加的な効果には不確実性があります。
- ・症状や部位によっては、レーザーを使用しない場合もあります。
- ・使用の有無や回数は、お口の状態を確認して判断します。

レーザーは歯周病治療の「補助」です。歯石・バイオフィルムの機械的除去や毎日のセルフケアと組み合わせ、必要な範囲で使用します。

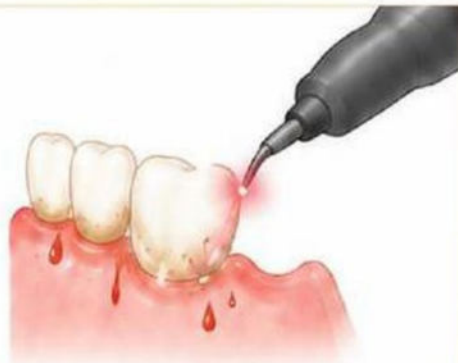
※歯科用Nd:YAGレーザーによる補助的処置は自由診療です。
費用・治療期間・回数は次ページをご確認ください。

なぜ歯科用 Nd:YAG レーザーを 補助的に使用することがあるのですか？

お口の状態や治療計画に応じて、補助的に使用場合があります

当院では、お口の状態や治療計画に応じて、
歯科用Nd:YAGレーザーを
補助的に使用場合があります。

歯周病治療の基本は、
ブラークコントロールとSRPです。



**必要な部位に
補助的に用います**

状態に合わせて、最小限の
範囲にやさしく照射します。



**レーザーだけで治す
治療ではありません**

SRP や機械的な清掃の
代わりになるものでは
ありません。



使用を検討する場合

お口の状態や治療計画を確認し、
補助的な使用が適切かどうかを
慎重に判断します。
特定の症状だけを理由に、一律に使用するものではありません。

基本的な治療の流れ(例)

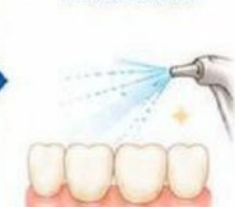
① ブラークコントロール・セルフケア



- ・毎日の歯みがき
- ・補助用具の使用
- ・生活習慣の見直し

お口の環境を整えます

② 必要に応じた 口腔内洗浄



POIC WATER など
お口の中をやさしく洗浄し、
細菌や汚れを減らします。

※いずれも必要と判断した
場合に行います。

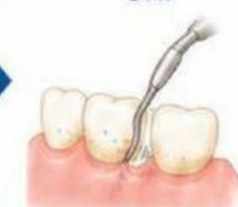
③ 必要に応じた Nd:YAG レーザーの 補助的使用



炎症や出血のある部位に
レーザーを照射し、
お口の状態を整え、治療を
サポートします。

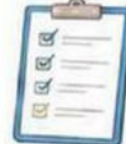
※いずれも必要と判断した
場合に行います。

④ スケーリング・SRP



歯石や歯垢を取り除き、
歯周ポケット内の
細菌を機械的に除去
します。

⑤ 再評価



お口の状態を確認し、
治療効果を評価します。

- ・歯ぐきの状態
- ・出血の有無
- ・ポケットの深さ
- ・全体の改善度 など

必要に応じて、追加治療や
メンテナンス計画を
立てます。

どのような目的で使うの？

必要な部位に限定して、補助的に使用場合があります。
歯周病治療の基本はブラークコントロールとSRPです。

使用の有無・回数は、お口の状態をみて判断します。

よくあるご質問

Q. 痛みはありますか？

A. 輪ゴムで軽く弾かれるような感覚があることがありますが、
多くの方は強い痛みを感じにくい方法です。

Q. 何回くらい必要ですか？

A. A 通常は1回です。症状・部位により、
複数回行うことがあります。

自由診療・費用

公的医療保険の対象外です

1歯につき1回 11,000円(税込)

通常1~3回: 11,000~33,000円(税込)

4回以上: 1回追加ごとに11,000円(税込)

治療期間・処置回数の目安

治療期間: 通常2週間~2か月

症状・状態によってはそれ以上

処置回数: 通常1回

経過により2~3回、

重度では4回以上となることがあります

主なリスク・副作用

一時的な痛み・出血・腫れ・違和感・
知覚過敏など。

炎症が落ち着き歯ぐきが引き締まることで、
歯ぐきが下がって見えたり、
歯が長く見えることがあります。

患者さま一人ひとりに合わせた、丁寧な歯周病治療を目指します。

堀 歯 科 医 院

治療後は再評価し、必要な部分だけ次へ進みます

「症状が軽くなった」だけで終わらず、治療前と比べて変化を確認します

再評価で確認すること

- ・歯周ポケットの深さ
- ・プロービング時の出血
- ・歯ぐきの腫れ・赤み・膿
- ・プラークの付着とセルフケア
- ・歯の揺れ・噛み合わせ

改善していれば

- ・良い状態を保つためのメンテナンス・継続管理へ移ります。
- ・比較的浅い歯周ポケットが残っていても、炎症がなく安定して管理できる場合は、経過をみる場合があります。

改善が不十分な場合は、原因をもう一度確認します

- ・歯石・バイオフィルムの残り、磨きにくい部位、深いポケット、歯の揺れ・噛み合わせ、根分岐部病変、骨の状態、喫煙や糖尿病などを確認します。
- ・セルフケアの再確認、追加のSRP、必要に応じた補助的処置などを、必要な部位に絞って行います。
- ・非外科的治療だけでは改善が難しい場合、歯周外科治療や歯周組織再生療法を検討し、必要に応じて専門医療機関をご紹介します。

抜歯を検討することもあります

治療を続けても炎症を十分にコントロールできず、長期的な保存が難しいと判断される場合には、保存の可能性・噛む機能・周囲への影響・将来的な安定性などを総合して検討します。

再評価では何を確認するのですか？

治療の効果を確認し、次のステップを決める大切な評価です

1 歯周ポケットの深さを確認

- 再びポケットの深さを測定します
- 治療前と比べて改善しているかを確認します

治療前



現在



数値が小さいほど改善しています

2 プローピング時の出血を確認

- 検査時の出血の有無を確認します
- 出血が減っていることは、炎症が改善しているサインです

治療前



現在



出血がない状態が理想です

3 腫れ・赤み・膿・痛みを確認

- 歯ぐきの腫れや赤みが改善しているか
- 膿の有無や痛みがないかを確認します
- 症状が落ち着いていることが重要です

治療前



現在



症状が落ち着いているかを確認します

4 プラークの付着とセルフケアの状態を確認

- 歯の表面の汚れ(プラーク)の付着を確認
- 歯みがきやフロスの使い方など、セルフケアの質を評価します

治療前



現在



良いセルフケアは再発予防の基本です

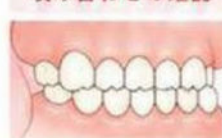
5 歯の動揺度と咬み合わせを確認

- 歯のグラつき(動揺度)を確認します
- 咬み合わせに問題がないかもチェックします

動揺度の確認



咬み合わせの確認



安定した咬み合わせと動揺の改善を目指します

6 治療前の状態と比較する

- 各項目の結果を、治療前の状態と比較します
- 数値や見た目の変化を確認し、治療の効果を評価します

治療前



ポケットの深さ
出血の有無
腫れ・赤み
プラークの付着
動揺度・咬み合わせ

比較

現在

ポケットの深さ
出血の有無
腫れ・赤み
プラークの付着
動揺度・咬み合わせ



7 結果に応じて次の方針を決定

- 評価の結果に基づいて、今後の方針を決めます

良好な改善がみられた場合



メンテナンス
(定期管理)へ移行
健康な状態を維持していきます

または

改善が不十分な場合



追加治療を検討
必要に応じて、再治療や外科治療を行います



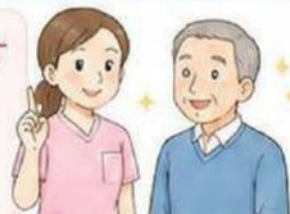
治療前と比べて変化を確認します

小さな変化も見逃さず、一つひとつ確認することが、健康なお口への近道です。

結果に応じて次の方針を決めます



よくなっていればメンテナンスへ、不十分なら早めに対応します。一緒にゴールを目指しましょう。



堀 齒 科 医 院

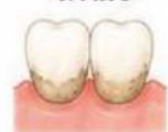
改善しなかった場合はどうしますか？

まず原因を確認し、必要に応じた追加治療をご提案します

1 まず原因を確認します

改善が不十分なときは、さまざまな要因が考えられます。丁寧にチェックして原因を見つけます。

歯石・プラークの
取り残し



清掃が難しい部位
(奥歯の奥・根分岐部など)



歯周ポケットの深さ



歯の動揺



咬み合わせ



歯の根の形態



根分岐部の関与



骨の状態



生活習慣・全身状態
(喫煙・糖尿病など)



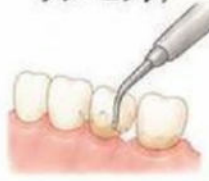
2 必要な部位に 的を絞った 追加治療を行います

原因に合わせて、必要な治療を必要な範囲で行います。

セルフケアの見直し
(ブラッシング指導など)



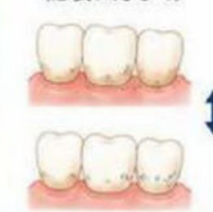
追加のSRP
(スケーリング・ルート
プレーニング)



補助的治療の追加
(POIC WATER・Nd:YAG
レーザーなど)



咬み合わせの確認・調整
(必要に応じて)



3 再評価を行います

追加治療後に、もう一度改善の度合いを確認します。ポケットの深さや炎症の改善、セルフケアの状況をチェックします。



ポケットの深さの確認



出血・炎症の確認



セルフケアの再確認



結果の評価・記録

改善した場合

現在の治療内容を継続し、良い状態を維持していきます。



改善が不十分な場合

非外科的治療だけでは限界がある場合、次の選択肢をご提案します。



4 次の選択肢を ご提案します

歯周外科治療
(ポケットの改善・
感染源の除去)



再生療法
(失われた組織の
再生を促進)



専門医療機関へのご紹介
(より専門的な治療
が必要な場合)



お口の健康を
長く守るために

最適な方法を一緒に
考え、納得いただける
治療を進めていきます。



5 保存が難しい場合には 抜歯も検討します

歯の状態や全体の治療計画から、保存が難しいと判断される場合には、抜歯を選択肢として検討します。

すぐに抜歯とは限りません

まずは、できる限り歯を残すための治療と一緒に続けていきましょう。



抜歯後の治療計画
(インプラント・ブリッジ・
入れ歯など)も、丁寧に
ご説明します。

段階的に、あきらめずに進めます
一つひとつ原因を確認し、最適な・治療を段階的に行うことで、歯を守る可能性は高まります。

あなたの気持ちに寄り添います
不安や疑問があれば、どんなことでもご相談ください。
一緒に、最善の方法を考えます。



堀歯科医院

治療後も、定期的なメンテナンスが大切です

歯周病は再発することがあるため、毎日のケアと医院での継続管理を組み合わせます

歯ぐきの状態が改善しても、プラークは再び付着し、歯石ができることがあります。歯周病は痛みが少ないまま進行することもあるため、定期的に小さな変化を確認することが大切です。

メンテナンスで行うこと

- ・歯ぐき、歯周ポケット、出血、歯の揺れ、噛み合わせの確認
- ・磨き残しを確認し、歯ブラシ・歯間ブラシなどの使い方を調整
- ・歯ブラシでは取りきれないプラーク・バイオフィルム・歯石を専門的に除去
- ・必要に応じて歯面の着色や細かな汚れを除去
- ・問題が見つかった部位には、必要な検査や追加の機械的清掃などを行います。

通院間隔は一人ひとり異なります

- ・歯周病の進行度、歯周ポケット、出血、磨き残し、喫煙、糖尿病、噛み合わせ、セルフケアなどを考慮します。
- ・状態に応じて通院間隔を調整します。自己判断で中断せず、歯科医師・歯科衛生士と相談しながら続けることが大切です。

定期的な通院は「治療のやり直し」ではありません。治療で得られた良い状態をできるだけ長く守るための継続管理です。

定期メンテナンスでは何を行いますか？

お口の健康を守るために、定期的なチェックとお手入れを行います

1 歯ぐきと歯周ポケットの状態をチェック

- ・歯ぐきの色や腫れ、出血がないか確認します
- ・歯周ポケットの深さを測定します



ポケット測定

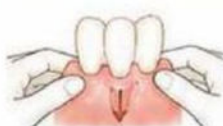


歯ぐきの状態確認



2 歯の動揺やかみ合わせをチェック

- ・歯のグラつきがないか確認します
- ・かみ合わせの状態を確認します



動揺の確認



かみ合わせの確認



3 プラークとブラッシングの状態をチェック

- ・プラークの付着状況を確認します
- ・ブラッシングのくせや磨き残しを確認します



プラークの確認



ブラッシング指導



補助用具の紹介

4 必要に応じて POIC WATER を使用

- ・お口のすみずみまでやさしく洗浄し、清潔な環境をサポートします

POIC WATER
口腔洗浄



お口全体を
やさしく
洗浄します

5 プロによるプラーク・バイオフィーム・歯石の除去

- ・専用の機器を使って、プラークやバイオフィームを除去します
- ・歯石もていねいに除去します



超音波スケーラー
(歯石の除去)



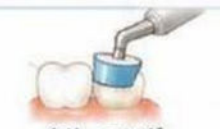
ハンスケーラー
(細部の除去)



エアフロー
(バイオフィーム除去)

6 歯の表面をクリーニング 着色があれば軽い着色除去も

- ・歯の表面をツルツルに仕上げます
- ・必要に応じて、着色汚れをやさしく除去します



クリーニング・
ポリッシング



着色の除去 (必要時)



つるつるの歯面に

7 問題が見つかった場合は追加の検査や処置を行います

- ・深いポケットや出血がある場合は、追加の検査やクリーニングを行います
- ・必要に応じて、歯周外科処置や再評価を行います



追加の検査
(レントゲンなど)



追加のクリーニング
(SRPなど)



必要に応じた
処置・再評価

8 通院間隔はお口の状態により一人ひとり異なります

- ・お口の状態に合わせて、最適な間隔を設定します
- ・定期的なメンテナンスで再発を防ぎましょう

通院間隔の目安(例)		
安定している方	ややリスクが高い方	リスクが高い方
3~6か月ごと	2~3か月ごと	1~2か月ごと



あなたに合った
間隔で、しっかり
サポートします！

再発予防のための継続管理です

定期メンテナンスは、治療の効果を長く維持し、お口の健康を守るために欠かせません、一緒に健康なお口を維持していきましょう。

通院間隔は一人ひとり異なります

お口の状態や生活習慣によって、最適な通院間隔は異なります。あなたに合わせたプランで、無理なく続けていきましょう。



堀齒科医院

なぜ治療後も通院を続けることが大切なのか？

お口の健康を長く保つために、定期的なケアを続けましょう

1 治療で 良い状態に

- ・歯ぐきの炎症が改善
- ・歯がしっかり支えられる
- ・お口の中がすっきり快適に



治療前



治療後



歯周病は
再発することが
あります

良くなっても油断は禁物。
お口の中は変化し続けます。

2 おうちでのケア だけでは限界があります

- ・歯垢（プラーク）やバイオフィームは
全部を落とすことが難しい
- ・歯石はおうちのケアでは
取り除けません

歯垢（プラーク）・バイオフィーム



細菌のかたまりが
少しずつたまります

歯石（歯のかたまり）



歯ブラシでは取れない
硬い汚れです



毎日のセルフケアを
続けましょう

3 痛みがなくても 再び進行することがあります

- ・歯ぐきの炎症は静かに進むことがある
- ・痛みが出るころには、
進行していることも

健康な状態



軽い炎症



自覚症状はほとんどなし

進行した状態



痛みや腫れが出ることも

！ 気づかないうちに
進んでしまいます

定期的なチェックが
とても大切です。

4 定期的な通院で 小さな変化を早期に発見

- ・歯ぐきの状態や歯の動揺をチェック
- ・歯石の除去やお口のクリーニング
- ・必要に応じた処置や指導

状態のチェック



歯石の除去



クリーニング・指導



定期的な確認で
早めに対応できます

小さな変化のうちに
ケアすることで、
悪化を防げます。

5 おうちのケア＋ クリニックのメンテナンスで 良い状態をキープ

- ・毎日のセルフケアで汚れをためない
- ・定期的なメンテナンスで
プロのケアを受ける

毎日のセルフケア



磨く・清掃する・整える

クリニックでのメンテナンス



定期的なチェック
クリーニング・必要な処置

良い状態を長く維持



健康な歯ぐきと
笑顔を守ります

6 通院の間隔は お口の状態によって違います

- ・リスクや治療後の状態に合わせて
最適な間隔を決めます
- ・無理なく続けられるペースで OK

安定している方

3～6か月ごと

良い状態を
キープするために

ややリスクがある方

2～3か月ごと

再発を防ぐために
しっかり確認

治療後・リスクが高い方

1～2か月ごと

変化を早く見つけて
しっかりケア

あなたに合った
ペースで通院を
続けましょう

通院を続けることが、未来の健康につながります

治療で得た良い状態を守ることが、
将来の歯を残すことにつながります。
一緒に、長く健康なお口を目指しましょう。

小さな積み重ねが、大きな安心に

毎日のケアと定期的なメンテナンスで、
いつまでも自分の歯でおいしく食べて、
素敵な笑顔で過ごしましょう。



堀 齒 科 医 院